NEC

P C 9 8

Mate NX Du-x

Windows 95 インストールモデル

ご利用にあたって

添付品の確認

初めて電源を入れる/切る

Windows 95 ご使用上の注意

アプリケーション使用上の注意

再セットアップする

Windows 98 を利用する

Windows NT 4.0を利用する

添付品の確認	1
箱の中身の確認 型番の確認 型番を記入する 添付品収納箱の中身を確認する 98OFFICIAL PASS メンバーへの登録	
初めて電源を入れる / 切る	8
初めて電源を入れる 電源を切る	8 11
Windows 95 ご使用上の注意	13
電源 キーボード ディスプレイ マプリケーション(古田 トの)注音	13 14 15
アプリケーション(史用工の)注息 使用できないアプリケーション アプリケーション追加時の注意 RSA SecurPC 追加時の注意 Timer-NX 使用時の注意 プレーヤ-NX 使用時の注意 NEC Soft MPEG1.0 の利用 Internet Explorer 4.01 の利用	16 16 16 17 18 18 19 21
MS-IME98 の削除 / 追加(Word モデルのみ)	25

再セットアップする	27
再セットアップについて	
標準再セットアップ	
カスタム再セットアップ	
FAT32 ファイルシステムの利用	30
Windows 98 を利用する	32
Windows 98 をセットアップする前に	32
Windows 98 をセットアップする	32
内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ	
モニタの設定	
USB 接続のキーボードドライバのセットアップ	39
USB 接続のマウスドライバのセットアップ	
フロッピーディスクドライバのセットアップ	45
内蔵 LAN ボードのセットアップ	
内蔵 FAX モデムボードのセットアップ	
MS-DOS モード用 CD-ROM ドライバのセットアップ	
内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ	
ソフトウェアパワー OFF 機能のセットアップ	
電源管理モードの利用 (APM/ACPI モード)	57
Windows NT 4.0 を利用する	64

添付品の確認

このたびは当製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。 梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリスト を見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損してい た場合は、すぐに購入元にご連絡ください。

箱の中身の確認

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています) 保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、 保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載 内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、 ご購入元または、NEC サービスセンター、サービスステーションに ご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の ご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。。

はじめにお読みください 添付品収納箱 本体 キーボード マウス 選択アプリケーション

型番の確認

本体の背面またはルーフカバーにある型番、製造番号と保証書の型 番、製造番号が一致していることを確認します。

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また 保証書は大切に保管してください。

型番を記入する

型番をこの枠に記入しておくと添付品の確認、マウス、キーボード、 ディスプレイ、リンクケーブル / モジュラーケーブルの接続を行う ときに便利です。

PC-MA

3

の意味は次のとおりです。

CPU のクロック周波数を表しています。

型番		クロック周波数
30	300A MHz	
33	333 MHz	
35	350 MHz	
40	400 MHz	
45	450 MHz	

CPU の種類を表しています。

型番	CPU
D	Pentium® プロセッサ
Н	Celeron™プロセッサ

本体の型を表しています。

型番		本体の型
CまたはL	省スペース型	
М	ミニタワー型	
S	デスクトップ型	

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

型番	ディスプレイ
5	15 インチ CRT ディスプレイ(DV15A2)
7	17 インチ CRT ディスプレイ(DV17B2)
E	18 インチ広視野角 TFT 液晶ディスプレイ
	(F18S1W)
F	15 インチ液晶ディスプレイ(F15T1)
G	15 インチ広視野角 TFT 液晶ディスプレイ
	(F15S1W)
Н	14.1 インチ液晶ディスプレイ(F14T3W)
J	14.1 インチ広視野角 TFT 液晶ディスプレイ
	(F14S1W)
Z	なし

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

型番	選択アプリケーション
А	なし
F	一太郎9パック
G	Word98&Excel97
Н	一太郎 9&1-2-3 98
Х	ESMPRO クライアントライセンス

3.5 インチベイに標準内蔵されているファイルとキーボードの種類を表しています。

型番	ファイル	キーボード
Н	フロッピーディスク ドライブ	USB 小型キーボード
L	スーパーディスク ドライブ	USB109 キーボード
Μ	フロッピーディスク ドライブ	USB109 キーボード
S	スーパーディスク ドライブ	USB98 配列キーボード
Т	フロッピーディスク ドライブ	PS/2 109 キーボード
U	スーパーディスク ドライブ	PS/2 109 キーボード
V	フロッピーディスク ドライブ	USB98 配列キーボード
W	スーパーディスク ドライブ	USB 小型キーボード

メモリの容量とネットワークボードの種類を表しています。

型番	メモリ容量	ネットワークボード
А	32MB	LAN ボード
В	64MB	LAN ボード
С	96MB	LAN ボード
Т	32MB	FAX モデムボード
U	64MB	FAX モデムボード
V	96MB	FAX モデムボード

ハードディスクの容量を表しています。

型番	容量
3	3.2GB
4	4.3GB
6	6.4GB
8	8.4GB

~ のすべての組み合わせが実現できているわけではありませ

ん。

添付品収納箱の中身を確認する

は一つのビニール袋に入っています。

Microsoft_® Windows_® 95 Operating System インストールモデルご 利用にあたって(このマニュアルです)

アース線

電源ケーブル

モジュラーケーブル(FAX モデムボードが標準で搭載されてい るモデルの場合のみ添付)

スタビライザ(省スペース型の場合のみ添付) 本体に取り付けるためのネジが2本添付してあります。

PCI ガイドブラケット (デスクトップ型の場合のみ添付)

98OFFICIAL PASS お客様登録申込書 安全にお使いいただくために 活用ガイド ハードウェア編 活用ガイド ソフトウェア編 ハードウェア拡張ガイド メンテナンス&サポートのご案内 NEC PC あんしんサポートガイド

Microsoft_® Windows_® 95 ファーストステップガイド Microsoft_® ユーザーカード 使用許諾契約書追加条項

ソフトウェアのご使用条件
 (箱の中身を確認後必ずお読みください)
 ソフトウェア使用条件適用一覧
 (箱の中身を確認後必ずお読みください)
 システムインストールディスク(FD)
 バックアップ CD-ROM
 アプリケーション CD-ROM

選択アプリケーション ESMPRO クライアントライセンス^{*1}、一太郎 9 パック^{*2}、 Word98&Excel97^{*3}または、一太郎 9&1-2-3 98 箱の中身は、選択アプリケーションの箱の中にある説明書をご覧 ください。 *1ESMPRO/ClientManager Ver2.0/Ver2.1、

DeliveryManager Ver4.0/Ver4.1/Ver5.0(ライセンス FD)

- *2 一太郎 9 パック(一太郎 9、三四郎 8/R.2U、花子 9、FullBand1.2U with ATOK12)、JUSTSYSTEM 電子辞書ライブラリ(研究社 新英和・ 和英中辞典、岩波国語辞典) (添付)
- *3Microsoft_®Excel97&Word98&Outlook[™]98 for Windows_® Microsoft_®/Shogakukan Bookshelf_® Basic マルチメディア統合辞典 Version2.0 (添付)

RSA SecurPC ユーザー登録カード(MA30H/Lを除く)

98OFFICIAL PASS メンバーへの登録

98OFFICIAL PASS メンバー(正規ユーザー)への登録を必ず行っ てください。登録方法について詳しくは、添付の「98OFFICIAL PASS お客様登録申込書」をご覧ください。

なお、パソコンをインターネットに接続している場合には、インタ ーネットで登録を行うこともできます。

「980FFICIAL PASS お客様カウンター」 (http://www.pc98.nec.co.jp/register/)

下記のホームページからリンクがはられています。 「98Information」(http://www.nec.co.jp/98/)

初めて電源を入れる / 切る

初めて電源を入れる

はじめてパソコンの電源を入れるときは、自分の名前などを入力す る Windows 95 セットアップの作業が必要です。この作業には全部 で約 30 分ほどの時間がかかります。

セットアップをするときの注意

- ・この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリな どの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器をパソコンと一緒に購入した場合は、先にWindows 95のセットアップ作業を完了させてから周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り 付けを行ってください。
- ・作業の途中では絶対に電源を切ったり、サスペンド 状態にしないでください。作業の途中で電源スイッ チやスリープボタンを操作したり、電源コードを引 き抜いたりすると故障の原因になります。途中で画 面が止まるように見えることがあっても故障ではあ りません。慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

次のものを準備しておいてください。

『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』 セットアップの途中で、表紙に記載されている Windows 95 の製造番号 (Product ID)を入力するのに使います。 名前

このパソコンを使う人の名前を入力する必要がありま す。登録する名前を決めておいてください。

セットアップの作業手順

- 1. ディスプレイの電源スイッチを押す
- 2. 本体の電源スイッチを押す

電源ランプが点灯し、「ピー」と音がします。しばらく すると「この度は当社のパーソナルコンピュータをお 買い求めいただきまして、誠にありがとうございま す。」の画面が表示されます。

- 注意 これ以降は、セットアップの作業手順が完了するまで、電源スイッ チとスリープボタンに絶対に手を触れないでください。セットアップ が完了する前にサスペンド状態にしたり電源を切ると、故障の原因 になります。
 - 3. キーボードの[Enter]を押す

ハードディスクのチェックが始まります。

- 4. ハードディスクのチェックが終了したら[Enter]を押す
- 5. 「ユーザー情報」の画面が表示されたら、このパソコン を使う人の名前と会社名を入力する

名前を入力しないと、つぎの手順に進めません。会社 名は入力しなくてもかまいません。

- 6. 入力が終わったら、「次へ >」ボタンをクリック
- 7. 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する
- 8. 「同意する」をクリックし、「次へ >」ボタンをクリック

9

同意しない場合、セットアップは続行できません

 Certificate of Authenticity」の画面が表示されたら、 Product ID を半角文字で入力する

Product ID は、『Microsoft Windows 95 ファーストステ ップガイド』の表紙に記載されています。

- 10. 「次へ >」ボタンをクリック
- 11.「すべての情報が保存されました。」と表示されたら、 「完了」ボタンをクリック

自動的に Windows 95 が起動します。途中で何度か画面 が変わり、次の画面が出るまでしばらくかかります。 途中で再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」 ボタンをクリックしてください。

12. しばらくして次の画面が表示されたら、各項目の説明を 読んだ後、×をクリック



本書に記載の画面は、機種やモデルによって異なる場 合があります。また、実際の画面とは多少異なること があります。

これで Windows 95 のセットアップは終了です。

電源を切る

- 1. 「スタート」ボタンをクリック
- 2. 「Windows の終了」をクリック



3. 「電源を切れる状態にする」をクリックして、「OK」ボタンをクリック



メッセージが表示され、自動的に電源が切れます。

4. ディスプレイの電源スイッチを切る

注意 液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、パソコン本体、 あるいは画面の解像度によって、画面の調整が必要な場合があり ます。ディスプレイに添付のマニュアルの「画面の調整」項目に従っ て、画面状態を確認し、表示位置のずれや画面にちらつきがある 場合は画面調整を行ってください。

Windows 95 ご使用上の注意

Windows 98 インストールモデルと Windows 95 インストールモデルで は、次の点が異なります。『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソ フトウェア編』と合わせてご覧〈ださい。これらのマニュアルをご覧になる時 は、「Windows 98」を「Windows 95」と読み替えて〈ださい。また、画面や ボタン名称が多少異なることがあります。

電源

・Windows 95 ではスタンバイ状態にする事を「サスペンド」、スタンバイ状態から復帰する事を「レジューム」と言います。
 サスペンド状態にするには、スリープボタンを押すか、「スタート」ボタン 「サスペンド」をクリックします。ただし、工場出荷時の状態では、スタートメニューに「サスペンド」は表示されません。「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」をダブルクリックし、「詳細」ボタンをクリックします。「詳細のプロパティ」画面の「[スタート]メニューの[サスペンド]コマンドの表示」にチェックを付けると、スタートメニューに「サスペンド」が表示されます。
 サスペンド状態から復帰(レジューム)するには、スリープボタンを押します。

また、USB 接続のキーボード/マウスの場合は、キーボードのキ ーを押したり、マウスを動かしてもレジュームします。

・Windows 95 では、電源管理のモードは APM モードです。ACPI モードはサポートしていません。



キーボード使用上の注意

「コントロールパネル」 「パワーマネージメント」 で「Windows でコンピュータの電源管理をする」のチ ェックボックスをオフに変更しないでください。変更 するとサスペンド / レジューム後、USB 接続のキーボ ードが動作しなくなります。

日本語入力

本機では、各モデルごとに以下の日本語入力プログラ ムが使用できます。

日本語入力 プログラム	アプリケーション なしモデル、 ESMPRO モデル	一太郎モデル	Word モデル	ー太郎 9 &1-2-3 98 モデル
MS- IME95				
MS- IME97				
MS- IME98				
ATOK12				

:インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定 になっている日本語入力プログラム

: インストールされている日本語入力プログラム

ディスプレイ

- ・Windows 95 で「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面を表示 させるには、次の手順で行ってください。
- 1. 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2. 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリック
- 3. 「ディスプレイの詳細」タブ 「詳細プロパティ」ボタンをクリック
- ・Windows 95 でディスプレイの省電力機能を使用するには、次の 手順で行ってください。
- 1. 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2. 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリック
- 3. 「スクリーン セーバー」タブ 「ディスプレイの省電力機能」で設定する

アプリケーション使用上の注意

使用できないアプリケーション

Windows 95 では、次の Windows 98 アプリケーションはご使用に なれません。

・メンテナンスウィザード

- ・システム情報
- ・ディスククリーンアップ
- ・ドライブコンバータ

アプリケーション追加時の注意

添付の「アプリケーション CD-ROM」からアプリケーションを追加 する時に「プロダクトの選択」の手順を行う場合は、次のように読 み替えてください。

プロダクトの選択

- 1. Windows 95 を起動する
- CD-ROM ドライブに本機に添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする
- 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 4. 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 5. 「セットアップと削除」タブを選ぶ
- 「セットアップ」ボタンをクリックし「フロッピーディスクまた は CD-ROM からのセットアップ」を起動する
- 7. 「次へ」ボタンをクリック

- 「セットアッププログラムの実行」の画面の「セットアップ プログラムのコマンドライン」が「<CD-ROM ドライブ名 >:¥NSETUP.EXE」となっていることを確認する
- 例 CD-ROM ドライブ名がQの場合 Q:¥NSETUP.EXE
- 9. 「完了」ボタンをクリック
- 「プロダクトの選択」が表示されます。

RSA SecurPC 追加時の注意

概要、削除および注意事項に関しては、『活用ガイド ソフトウェア 編』「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「RSA SecurPC」をご覧ください。

追加

- 1. 「プロダクトの選択」の手順1~9を実行する
- 「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 95 をクリックして「OK」ボタンをクリック
- 以降、『活用ガイド ソフトウェア編』「PART1 アプリケ ーションの概要と削除 / 追加」の「RSA SecurPC」の 「追加」の手順3~11を行う

Timer-NX 使用時の注意

- ・リング機能をご使用になる場合、BIOS セットアップメニューの「省電力管理」 「入力装置によるレジューム」を「オン」になっていることを確認してください。
- ・「通信ポートを監視する」を設定すると、自動着信指定されたFA Xソフトなど、通信ポートを使用し続けるアプリケーションを使 用する場合、通信が終了しても、いつまでも自動でスタンバイ状 態になりません。

このようなアプリケーションソフトを利用してスタンバイ機能を 利用する場合には、「通信ポートを監視する」を設定しないように してください。

「通信ポートの監視する」が利用できるのは FAX モデムが内蔵さ れているモデルまたは、FAX モデムボードセット(PK-UG-X001、 または PK-UG-X021)を利用した場合です。

プレーヤ-NX 使用時の注意

プレーヤ-NX の起動方法は次の通りです。

起動方法

 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「マ ルチメディア」の「プレーヤ-NX(CD プレーヤ)」をクリッ ク

プレーヤ-NX の画面が表示されます。

NEC Soft MPEG1.0 の利用

概要および注意事項に関しては、『活用ガイド ソフトウェア編』 「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「NEC Soft MPEG1.0」をご覧ください。

起動方法

- 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「マ ルチメディア」の「メディアプレーヤー」をクリック
- 2. 「デバイス」メニューから、「NEC Soft MPEG1.0」を選ぶ
- 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、再生したい MPEG ファイルを選んで「開く」ボタンをクリック
- 4. 再生ボタンをクリック

再生が始まります

削除

- 1. 動作中のアプリケーションをすべて終了する
- スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 「コントロールパネル」の「マルチメディア」をダブルクリ ック
- 4. 「マルチメディアのプロパティ」から「詳細設定」タブを選ぶ
- 5. 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)を クリックして、デバイスドライバの一覧を表示
- 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0 のプロパティ」で「削除」ボタンをクリック

- 7. 「削除」が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 「デバイスは削除されました」が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 削除後、再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」 ボタンをクリック
- 10. Windows を再起動する

追加

- CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする
- スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 「コントロールパネル」の「ハードウェア」をダブルクリック
- 「ハードウェアウィザード」の画面が表示されたら、「次 へ」ボタンをクリック
- 5. 新しいハードウェアを自動検出する選択画面で「いい え」を選び、「次へ」ボタンをクリック
- インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選んで「次へ」ボタンをクリック
- 「ディスク使用」ボタンをクリックし、「フロッピーディスク からインストール」の画面でコマンドラインに次のよう入 力し、「OK」ボタンをクリック

<CD-ROM ドライブ名>:¥NECMPEG

- 8. 画面に「NEC Soft MPEG1.0」と表示されるので、「次 へ」ボタンをクリック
- 9. 「完了」ボタンをクリック
- 10. ファイルのコピーが開始されます
- 11. ファイルのコピー終了後、再起動を促すメッセージが表

示されたら「はい」ボタンをクリック

自動的に再起動します

Internet Explorer 4.01 の利用

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。

起動方法

「スタート」ボタン 「プログラム」 「Internet Explorer」
 の「Internet Explorer」をクリック

Internet Explorer の画面が表示されます。

削除

- 注意 Internet Explorer 4.01 を削除する場合、再追加するためには、再 セットアップを行う必要がありますのでご注意ください。
 - Internet Explorer を削除する前に、ごみ箱に入って いる項目を削除してもよいか確認して、必要なファイル をデスクトップ上の「ゴミ箱」を開いて保存したいファイ ルを別の場所に移動する
 - 2. 『活用ガイド ソフトウェア編』の「削除の準備」の手順1 ~ 4を行う
 - 「セットアップと削除」の画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックして「追加と削除」ボタ ンをクリック
 - 4. 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」の画面

で「Internet Explorer 4.0 とそのすべてのコンポーネン トをアンインストールする」にチェックを付け、「詳細」ボ タンをクリック

- 5. 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」の画面 で「Internet Explorer 4.0 と次のコンポーネントをアンイ ンストールする」にチェックを付け、削除するコンポーネ ントにチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリック
 - Microsoft FrontPage Express
 - Microsoft Music Control
 - Microsoft NetMeeting 2.1
 - Microsoft Outlook Express
 - Microsoft Web Publishing Wizard 1.53
 - VDOLive Player
 - ・タスク スケジューラ 1.0(削除のみ)
- 「既にセットアップされているコンポーネントを検索して います」のメッセージの後に、「Internet Explorer 4.0と 共有コンポーネントを削除するには、「OK」をクリックし てください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 「Microsoft Internet Explorer 4.0 を削除しますか?」と 表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- メモ 「Internet Explorer 4.0 により、ごみ箱の形式が変更されました。」と 表示される場合があります。現在ごみ箱に入っている項目を保持 する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、削除処理を一旦終了 し、手順1から始めてください。
 - 8. 「OK」ボタンをクリック

削除が始まります。削除には 10 数分かかります。

- 「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定で Windows を再起動します。」と表示されたら「OK」ボタ ンをクリック
- 「自動的に閉じることができなかったプログラムがいく つかあります。」と表示されたら、実行中のプログラムで データを処理しているものがあれば、それらのデータを 保存しプログラムをすべて終了します。それから「OK」 ボタンをクリック
- 「コンピュータを再起動する必要があります。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

自動的に再起動されます。

12. 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示され た場合、ユーザ名とパスワードを入力する

パスワードは入力しなくてもかまいません。

- 「ファイルの種類を Active Movie に関連付けて、すべて再生できるようにしますか?」のメッセージが表示された場合、「はい」ボタンまたは「いいえ」ボタンをクリック
- メモ 通常 Active Movie に関連付けられるファイルの種類の中に、現在 ほかのプログラムに関連付けられているものがあります。そのため、 マルチメディアのファイルの種類によっては、再生されないものが あります。
 - 次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の 個人設定を削除するよう表示されたら、「はい」ボタンま たは「いいえ」ボタンをクリック

- Microsoft Internet Explorer 4.0
- ・Windows デスクトップのアップデートコンポーネ ント
- ・インターネット接続ウィザード
- Microsoft NetMeeting 2.1
- Microsoft Outlook Express
- VDOLive Player
- Microsoft FrontPage Express
- 「コンピュータを再起動する必要があります。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

自動的に再起動されます。

追加

Internet Explorer 4.01 の追加はできません。再セットア ップが必要ですので後述の「再セットアップする」を ご覧ください。

(**補足** Internet Explorer 3.02 を使うには) Internet Explorer 3.02 をご使用になる場合は、標準でイ ンストールされている Internet Explorer 4.01 を削除し てください。その後、Internet Explorer 3.02 を次のアド レスからダウンロードし、インストールします。 http://www.microsoft.com/japan/download.htm

MS-IME98 の削除 / 追加(Word モデルのみ)

削除

MS-IME98の削除は以下の手順で行います。

- 『活用ガイド ソフトウェア編』の「削除の準備」の手順1 ~ 4を行う
- 「Microsoft IME 98 日本語入力システム(削除のみ)」 をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3. 「削除の確認」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 4. 「アンインストールの完了」の画面が表示されたら「OK」 ボタンをクリック
- 5. Windows 95 を再起動する

追加

Windows 95 モデルでは、MS-IME98 の追加は「Microsoft Excel97 & Word98 & Outlook98 for Windows」CD-ROM を利用して行います。『活用ガイド ソフトウェア編』に記述さ れている Windows 98 モデルの場合と異なりますので注意 してください。

- 1. Windows 95 を起動し、CD-ROMドライブに「Microsoft Excel97 & Word98 & Outlook98 for Windows」の CD-ROM をセットする
- 2. 「MS-IME98 のセットアップ」ボタンをクリック
- 「Microsoft MS-IME98 セットアップ」の画面が表示され たら「継続」ボタンをクリック
- 「ユーザー情報の登録」の画面で必要事項を入力し 「OK」ボタンをクリック

- 5. 「ユーザー情報の確認」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください」と表示されたら「標準のセットアップ」のボタンをクリック

インストールが始まります。

 7. 「Windows の再起動」の画面が表示されたら、 「Windows の再起動」ボタンをクリック

再セットアップする

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップ CD-ROM」を使って、本機のシステムやアプリケーションを工場出荷時の 状態に復元する方法を説明します。

再セットアップについて

再セットアップを行うと、壊れてしまったパソコンのシステムを復 旧することができます。ただし、ハードディスクに保存したファイ ルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが 必要かどうかを『活用ガイド ソフトウェア編』「PART2 再セット アップするには」の「再セットアップについて」をご覧になり、よ く確認してからはじめてください。

また、再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再 セットアップ」の二つの方法があります。

なお、Windows 95 の Safe モードで起動する手順は次の通りです。

1. 問題のある Windows 95 を起動する

「NEC」のロゴが表示されます。

- 2. 「Starting Windows 95」と表示されたら [F8]を押す
- Microsoft Windows 95 Startup Menu」の画面が表示されたら、
 「3.Safe mode」を選択して[Enter]を押す
- 画面の指示に従う

Safe モードが起動します。

標準再セットアップ

『活用ガイド ソフトウェア編』「PART2 再セットアップするに は」の「工場出荷時と同じ状態にする - 標準再セットアップ」をご 覧ください。

ただし、「5. Windows 98 の設定をする」の手順は、次の「Windows 95 の設定をする」に読み替えてください。

Windows 95 の設定をする

1. 「ユーザー情報」の画面で、このパソコンを使う人の名 前と会社名を入力する

名前を入力しないと、つぎの手順に進めません。会社 名は入力しなくてもかまいません。

ただし、ここで入力した名前、会社名は変更できません。変更する場合は、再セットアップする必要があります。

名前や会社名は、ローマ字でも、漢字やカタカナでも かまいません。

2. 入力が終わったら、「次へ >」ボタンをクリック

- 3. 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する
- 4. 「同意する」をクリックし、「次へ >」ボタンをクリック

「同意しない」をクリックすると、セットアップが中 止になるようなメッセージが表示されます。中止した ときは、再セットアップをもういちど最初からやりな おしてください。

5. Product ID を半角文字で入力する

Product ID は、『Microsoft Windows 95 ファーストステ ップガイド』の表紙に記載されています。表紙のデザ インは、実際のものと異なる場合があります。0(ゼロ) と0(オー)、1(イチ)とI(アイ)など、似ている文字を 間違えないように注意してください。

- 注意 『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』は紛失しないよ うに気をつけてください。表紙に記載されている「Product ID」がわ からないと、再セットアップできません。
 - 6. 「次へ>」ボタンをクリック
 - 「すべての情報が保存されました。」と表示されたら、
 「完了」ボタンをクリック

自動的に Windows 95 が起動します。

 Windows 95 セットアップ」の画面が表示されたら、 「次へ」ボタンをクリック

Internet Explorer 4.01 のインストールが始まります。 インストールは 10 数分かかります。

「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

自動的に Windows 95 が再起動し、しばらくすると Windows 95 のデスクトップ画面が表示されます。

注意 Word モデルの場合はアプリケーションを起動せずに、Outlook、 Excel、Word の再セットアップを行ってください。再セットアップを完 了しないと誤動作の原因になる場合があります。

カスタム再セットアップ

『活用ガイド ソフトウェア編』「PART2 再セットアップするに は」の「ドライブ領域を変えて再セットアップする - カスタム再セ ットアップ」をご覧ください。

注意事項

- ・本機では、基本 MS-DOS 領域は最大 2,047M バイト まで作成できます。
- ・領域の削除時に「大容量ディスクのサポートを使用 可能にしますか?」と表示されたら、必ず「N」を 選んでください。
- ・基本 MS-DOS 領域を作成する際には、950MB 以上 の領域を作成してください

FAT32 ファイルシステムの利用

『活用ガイド ソフトウェア編』「PART2 再セットアップするに は」の「FAT32 ファイルシステムの利用」をご覧ください。

注意事項

- FAT32 は、本機にインストールされている Windows
 95 (Version 4.00.950 C) でのみ使用できます。
- 「カスタム再セットアップ」を行うとき、システム 領域(Cドライブ)を FAT32 ファイルシステムにし ないでください。

- ・ FDISK コマンド使用時に「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」というメッセージが表示された場合は、【Y】を選択してください。
- ・ドライブコンバータ(FAT32)は、使用できません。

Windows 98 を利用する

本機で別売の Windows98 を利用する場合のセットアップ手順及びアップ グレード手順について説明します。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。これと異なる ドライブ構成で利用する場合は読み替えてください。

 フロッピーディスクドライブ
 A ドライブ

 Windows98 をインストールするドライブ
 C ドライブ

 (Windows98 をインストールするディレクトリ
 C:¥Windows ディレクトリ)

 CD-ROMドライブ
 Q ドライブ

Windows 98 をセットアップする前に

Windows98 をセットアップする手順では次のものが必要です。あらかじめ準備しておいてください。

- ・Microsoft(R) Windows(R)98(別売)
- ・アプリケーション CD-ROM (本機添付)

Windows 98 をセットアップする

Windows 98 をセットアップしてください。Windows98 のセットア ップ方法については、Windows98 添付マニュアルをご覧ください。 Windows98 のセットアップ終了後、次の設定を行います。設定は必 ず、記述の順番に従って行ってください。

注意 お使いの機種やモデルによってドライバのセットアップ方法が異な ります。それぞれに該当する頁をご覧ください。 なお、Windows 98 のセットアップの方法は次の二通りがあります。

- ・Windows 98 を新規にセットアップする フォーマットしたばかりのドライブに Windows 98 をセット アップします。
- ・Windows 95 からアップグレードする すでに Windows 95 がインストールされているドライブに Windows 98 をアップグレードします。

どちらの方法で Windows 98 を利用するかによって以降で説明して いるドライバのセットアップの方法が多少違います。それぞれ該当 する必要な部分をご覧ください。

項目	Windows 98 を新規に	Windows 95 から
	セットアップ	アップグレード
内蔵アクセラレータ対応ド		
ライバのセットアップ		
モニタの設定		
USB 接続のキーボードド		
ライバのセットアップ		
USB 接続のマウスドライ		
バのセットアップ		
フロッピーディスク		
ドライバのセットアップ		
内蔵 LAN ボードの		
セットアップ		
内蔵 FAX モデムボード		
のセットアップ		×
MS-DOS モード用		
CD-ROM ドライバの		
セットアップ		
内蔵サウンド対応ドライバ		
のセットアップ		
ソフトウェアパワー OFF		
機能のセットアップ		×

…同じ手順で設定

×…必要なし

…違う手順で設定(それぞれ該当する部分をご覧ください)

注意 「Windows 98 へようこそ」の画面が一番前に表示されている場合 は、タイトルバーの [X]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてくださ い。

「Windows 98 CD-ROM」をセットした後、AutoRun 機能により
 「Windows 98 CD-ROM」の画面が表示されることがあります。画
 面が表示された場合は、[X]ボタンを押して終了させ処理を続けてく
 ださい。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

- 1. 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
- 2. 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 3. 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリック
- 4. 「設定」タブをクリック
- 5. 「詳細」ボタンをクリックし、「アダプタ」タブをクリック
- 6. 「アダプタ」タブの「変更」ボタンをクリック
- 「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面が表示されたら「次へ」 ボタンをクリックし、検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバ の一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して、 「次へ」ボタンをクリック
- 「ディスク使用」ボタンをクリックし、配布ファイルのコピー元に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

<MA45D/M、 MA35D/M、 MA40D/S、 MA35D/S、 MA33H/S、 MA30H/S、 MA40D/C、 MA35D/C の場合> "Q:¥WIN98¥RIVA128"

<MA30H/C、MA30H/Lの場合> "Q:¥WIN98¥RAGE2C"

 「デバイスの選択」の画面に、次のように表示されていることを確認し、 「OK」ボタンをクリック

<MA45D/M、 MA35D/M、 MA40D/S、 MA35D/S、 MA33H/S、 MA30H/S、 MA40D/C、 MA35D/C の場合> "NVidia RIVA 128/128ZX"

<MA30H/C、MA30H/L の場合> "RAGE IIC AGP (日本語)"

注意 「ドライバの更新の警告」の画面が表示された場合は、[はい]ボタン をクリックしてください。

10. 「次へ」ボタンをクリック

自動的にドライバのコピーが行われます。

- 注意 「バージョンの競合」の画面が表示された場合は、「いいえ」ボタンを クリックしてください。
- 11. 「完了」ボタンをクリック
- 12. 「閉じる」ボタンをクリックし、「画面のプロパティ」の「閉じる」ボタンを クリック
- 13. 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック

再起動後に設定が有効になります。

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは完了です。

モニタの設定

- Windows 98 セットアップ完了後 Windows 98 が起動すると、プラグ アンドプレイモニタを自動検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザ ード」が自動的に起動したら、"プラグアンドプレイモニタ"と表示され ていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック
 - 注意 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されなかった場合は、 後述の「「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場 合」をご覧になり、設定してください。
- 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」が選択され ていることを確認して、「次へ」ボタンをクリック
- 「フロッピー ディスク ドライブ」および「Microsoft Windows Update」 のチェックをはずし、「検索場所の指定」にチェックをつける
- 4. 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
- 検索場所に"Q:¥WIN98¥MONITOR"と入力し、「次へ」ボタンをクリ ック
- "更新されたドライバ(推奨)"に、現在使用中のモニタ名称が表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリック
- 7. 「次へ」ボタンをクリック

自動的にモジュールのコピーが行われます。

- 8. 「完了」ボタンをクリック
- 9. 「スタート」ボタン 「Windows の終了」をクリック

36

10. 「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリック

再起動後に設定が有効となります。

以上でモニタの設定は完了です。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示さ

れない場合

Windows98セットアップ後に、「新しいハードウェアの 追加ウィザード」でモニタの設定が表示されない場合 は、次の手順でセットアップを行ってください。

- 1. 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセッ トする
- スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 3. 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリック
- 4. 「設定」タブをクリック
- 5. 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリック
- 「モニタ」タブで「プラグアンドプレイモニタ」と表示されている場合は、「変更」ボタンをクリック
- 注意 ここで、お客様がお使いのモニタ名称が表示されている場合は、以 下の手順は不要ですので、「キャンセル」ボタンを2回クリックしてセ ットアップを終了してください。
 - 「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
 - 検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
 - 9. 「ディスク使用」ボタンをクリックし、配布ファイルのコピ 一元に次のように入力し「OK」ボタンをクリック

"Q:¥WIN98¥MONITOR"

10. 一覧にお客様がご使用のモニタ名称が表示されている 事を確認し、「OK」ボタンをクリック

注意 「ドライバの更新の警告」の画面が表示された場合は、「はい」ボタ ンをクリックしてください。

11. 「次へ」 ボタンをクリック

自動的にドライバのコピーが行われます。

注意 「ディスクの挿入」の画面が表示された場合は、次の手順を実行し てください。

「ディスクの挿入」の画面の「OK」ボタンをクリック

「ファイルのコピー」の画面の「ファイルのコピー元」に次のように入 力する

"Q:¥WIN98¥MONITOR"

「OK」ボタンをクリック

- 12. 「完了」ボタンをクリック
- 13.「閉じる」ボタンをクリックし、「画面のプロパティ」の「閉 じる」ボタンをクリック

以上でモニタの設定は完了です。

USB 接続のキーボードドライバのセットアップ

USB 接続のキーボードを利用するため,次の手順でドライバをセットアップします。PS/2 109 キーボードを使用している場合は,次の手順は必要ありません。

- 1. 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
- 2. 「スタート」ボタン 「ファイルを指定して実行」をクリック
- 3. 「名前」に次のように入力して、「OK」ボタンをクリック

Q:¥WIN98¥USBKBD¥SETUP98.EXE

- 「USB キーボードドライバセットアップ」の画面で、「USB キーボード ドライバをセットアップします。よろしいですか?」と言うメッセージが表 示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 「Windows 98 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。」 というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 「Windows 98 CD-ROM」を挿入後、現在使用されている USB キー ボードを抜き、再度接続する
 - 注意 「Windows 98 CD-ROM」を CD-ROMドライブにセットすると、 CD-ROM アクセスランプが点灯しますので、 ランプが消えてから USB キーボードを抜き、再度接続してください。
- 7. ドライバのコピーが終了したら、「スタート」ボタン 「Windows の終 了」をクリック
- 8. 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 9. Windows 98 が再起動します。

USB109 キーボード、USB 小型キーボードを使用している場合は、 以上で USB 接続のキーボードドライバのセットアップは完了です。 USB98 配列キーボード(PK-KB011)を使用している場合は、引き続 き USB98 配列キーボードドライバのセットアップ手順を行ってく ださい。

USB98 配列キーボードドライバのセットアップ手順

USB98配列キーボードを利用するため、次の手順でド ライバをセットアップします。 USB98配列キーボード以外のキーボードを使用してい る場合は次の手順は必要ありません。

- 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 2. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 3. 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 4. 「キーボード」をダブルクリック
- 5. 「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」をクリックして、「プロパティ」ボタンをクリック
- 「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)のプロパティ」の画面で「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」 ボタンをクリック
- 7. 「デバイス ドライバの更新ウィザード」の画面で「次へ」 ボタンをクリック
- 特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、 インストールするドライバを選択する」をクリックし、「次 へ」ボタンをクリック
- 「すべてのハードウェアを表示」をクリックし、「製造元」 から「NEC Keyboard drivers」をクリック
- 10. 「モデル」から、次のどちらかのドライバを選択し、「次 へ」ボタンをクリック

・NEC 98 Layout Keyboard (CTRL+XFER) Windows98上での日本語入力のOn/Off切り替えを 「CTRL」+「XFER」で行なうことができます。

・NEC 98 Layout Keyboard (XFER) Windows98上での日本語入力のOn/Off切り替えを 「XFER」で行なうことができます。

- 11. 「ドライバ更新の警告」の画面が表示されたら「はい」ボ タンをクリック
- 12. 「次へ」ボタンをクリック
- 「Windows 98 CD-ROM'ラベルの付いたディスクをセットして[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」をセットして、「OK」ボタンをクリック

Windows 98 CD-ROMがあらかじめ挿入されている場合 は、表示されない場合があります。

- 14. 「ファイルのコピー」の画面で「Windows 98 CD-ROM 上のファイルjkeyb.sysが見つかりませんでした。」とい うメッセージが表示される場合があります。その場合は、 CD-ROMのアクセスランプが消灯してから、「OK」ボタ ンをクリック
- 15. 「完了」ボタンをクリック
- 16. 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンを クリック

Windows 98が再起動します。

注意 「システム設定の変更」の画面が表示されない場合は「スタート」ボ タン 「Windows の終了」をクリックし、「Windows の終了」の画面 で、「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックしてくださ い。

> 以上でUSB98配列キーボードドライバのセットアップ は完了です。

USB 接続のマウスドライバのセットアップ

USB 接続のマウスを利用するため、次の手順でドライバをセットア ップします。

PS/2 接続のマウスを使用している場合は、次の手順は必要ありません。「フロッピーディスクドライバのセットアップ」へ進んでください。

Windows 98 を新規にセットアップした場合

- 「アプリケーションCD-ROM」を CD-ROMドライブにセ ットする
- 2. 「スタート」ボタン 「ファイルを指定して実行」をクリック
- 3. 「名前」に次のように入力して、「OK」ボタンをクリック

Q:¥WIN98¥USBMO¥SETUP98.EXE

- 「USBマウスドライバセットアップ」の画面で、「USBマウ スドライバをセットアップします。よろしいですか?」という メッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 「Mitsumi Mouse Driver Disk上のファイル usbmo.inf がみつかりませんでした」というメッセージが表示され た場合は、「ファイルのコピー元」に次のように入力して、 「OK」ボタンをクリック Q:¥WIN98¥USBMO
- 「Windows 98 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し てください」というメッセージが表示されたら「Windows 98 CD-ROM」をセットして「OK」ボタンをクリック
- 7. 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をク リック
- 8. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 9. 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 「ヒューマン インターフェイス デバイス」-「USBヒュー マン インターフェイス デバイス」をクリックし、「削除」 ボタンをクリック
- 11. 「このデバイスをシステムから削除しようとしています」

というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

- 12. USBマウスをUSBポートからいったん抜き、再度接続 する
- 13. ドライバのインストール終了後、「閉じる」ボタンをクリック

以上でUSB接続のマウスドライバのセットアップは完 了です。

Windows 95 からアップグレードした場合

- 「アプリケーションCD-ROM」を CD-ROMドライブにセットする
- 2. 「スタート」ボタン 「ファイルを指定して実行」をクリック
- 3. 「名前」に次のように入力して、「OK」ボタンをクリック

Q:¥WIN98¥USBMO¥SETUP98.EXE

- 「USBマウスドライバセットアップ」の画面で、「USBマウ スドライバをセットアップします。よろしいですか?」という メッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 「Mitsumi Mouse Driver Disk上のファイル usbmo.inf がみつかりませんでした」というメッセージが表示され た場合は、「ファイルのコピー元」に次のように入力して、 「OK」ボタンをクリック

Q:¥WIN98¥USBMO

- 「Windows 98 CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください」と表示されますので、「Windows 98 CD-ROM」をセットし「OK」ボタンをクリック
- 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 8. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 9. 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 10. 「マウス」の下の「Mitsumi USB Quick Scroll Mouse」 をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック
- 11. 「ドライバ」タブをクリック

- 12. 「ドライバの更新」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをク リック
- 13.「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、 インストールするドライバを選択する」をクリックし、「次 へ」ボタンをクリック
- 「デバイス ドライバの更新ウィザード」の画面の「モデ ル」から「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」 をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 15. 「次へ」 ボタンをクリック
- 「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインスト ールされました」と表示されたら、この時点でUSBマウ スは使用できなくなっているので、[Enter]を押す
- 17.「USBヒューマン インターフェイス デバイスのプロパテ ィ」で、【Tab】を押し、「閉じる」ボタンを選択し、【Enter】 押す

これ以降USBマウスが使用可能になります。

- 18. 「システムのプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリッ ク
- 19. 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 20. 「再起動する」をクリックして、「OK」をクリック

Windows 98が再起動します。

- 21. 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をク リック
- 22. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 23. 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 24. 「ヒューマン インターフェイス デバイス」の下の「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」をクリックし、 「削除」ボタンをクリック
- 25. 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら「OK」ボ タンをクリック
- 26. USBマウスをUSBポートからいったん抜き、再度接続 する
- 27. 「システムのプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリッ ク

以上でUSB接続のマウスドライバのセットアップは完 了です。

フロッピーディスクドライバのセットアップ

フロッピーディスクドライブの種類により、ドライバのセットアッ プ手順が異なります。

スーパーディスクドライブを利用する場合

次の手順でドライバをセットアップします。

- 1. 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセッ トする
- スタート」「プログラム」「MS-DOSプロンプト」をク リック
- 3. MS-DOSプロンプトから次のように入力する

Q: [Enter] CD ¥WIN98¥LS120 [Enter] SDINST [Enter] EXIT [Enter]

- 4. 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 5. 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

Windows 98が再起動します。

以上でスーパーディスクドライバのセットアップは完 了です。

フロッピィーディスクドライブを利用する場合

次の手順でドライバをセットアップします。

- 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 2. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 3. 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- リストの中から「フロッピーディスクコントローラ」をダブ ルクリックし、「フロッピーディスクコントローラ」の下の 「NEC 3-mode Floppy(FDC37C675)」をクリックし、 「削除」ボタンをクリック
- 注意 「NEC 3-mode Floppy(FDC37C675)」が存在しなかった場合には、 手順5~9は必要ありません。「OK」ボタンをクリック後、手順10に 進んでください。
 - 5. 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら「OK」ボ タンをクリック
 - 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリ ック
 - 7. 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
 - 8. 「再起動する」をクリックし、「OK」をクリック

Windowsが再起動します。

- 9. 再起動後、「スタート」「設定」「コントロールパネ ル」をクリック
- 10. 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセッ トする
- 11. 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をダブ ルクリック
- 12. 「新しいハードウェアの追加ウイザード」の画面が表示 されたら「次へ」ボタンをクリック
- 13. 「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索しま す。」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック

検索が開始されます。

- 14. 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」というメッセージが表示された場合は、「デバイスは一覧にない」をクリックして「次へ」ボタンをクリック
- 15. 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出されます。」というメッセージが表示されたら「いいえ(一覧から選択する)」をクリックして「次へ」ボタンをクリック
- 16. 「ハードウェアの種類」のリストの中から「フロッピーディ スクコントローラ」をクリックして「次へ」ボタンをクリック
- 17. 製造元とモデルを選択する画面が表示されますので、 「ディスク使用」ボタンをクリック
- インストールするディスクの場所を入力するウィンドウ が表示されますので、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリック

Q:¥WIN98¥3MODEFD1

- モデルの一覧が表示されますので、「NEC 3-mode Floppy(FDC37C675)」をクリックして「次へ」ボタンをク リック
- 20. 「完了」ボタンをクリック
- ファイルのコピーが始まります。
- 21. 起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをク リック

以上でフロッピーディスクドライバのセットアップは 完了です。

内蔵 LAN ボードのセットアップ

本機内蔵 LAN ボードを利用するため,次の手順でドライバをセット アップします。

内蔵 LAN ボードが取り付けられていない場合は、次の手順は必要あ りません。

- 注意 「82557ndi.dl_が見つかりませんでした」、または「e100bnt.sy_が 見つかりませんでした」というメッセージが表示されたら、「アプリケ ーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットし、「ファイルのコ ピー元」に、Q:¥WIN98¥100BASE と入力し、「OK」ボタンをクリッ クしてください。
 - ・「secure32.dll が見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合には、「Windows 98CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットして、Q:¥WIN98と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

次の手順でセットアップします。

- 1. 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 3. 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)」または「NEC PK-UG-X006(PCI) or compatible Fast Ethernet Adapter」をクリックし、「プロパティ」ボタ ンをクリック
- 5. 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリック
- 「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面が表示されたら「次へ」 ボタンをクリック
- 検索方法で「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検 索する (推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットして「検索 場所の指定のみ」にチェックをつけ、検索場所に次のように入力し、 「次へ」ボタンをクリック

Q:¥WIN98¥100BASE

- 9. ドライバが見つかりますので、「更新されたドライバ(推奨)」をクリック し、「次へ」ボタンをクリック
- 10. 「次へ」ボタンをクリック
- 11. 「完了」ボタンをクリック
- 12. 「NEC PK-UG-X006(PCI) or compatible Fast Ethernet Adapter のプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリック
- 13. 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック
- 14. 「スタート」ボタン 「Window の終了」をクリック
- 15. 「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリック

以上で内蔵 LAN ボードのセットアップは完了です。

内蔵 FAX モデムボードのセットアップ

本機内蔵 FAX モデムボードを利用するため,次の手順でドライバを セットアップします。

内蔵 FAX モデムボードが取り付けられていない場合は、次の手順は 必要ありません。また、Windows 95 からアップグレードした場合 も次の手順は必要ありません。

- 1. 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
- 2. 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 3. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 4. 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 5. 「その他のデバイス」をクリックし、「PCI Communication Device」を

クリックして、「プロパティ」ボタンをクリック

- 6. 「PCI Communication Device のプロパティ」の画面の「ドライバの 再インストール」ボタンをクリック
- 「デバイスドライバの更新ウィザード」で「次へ」ボタンをクリックし、
 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック
- 8. 「検索場所の指定」にチェックを付け、次のように指定し、「次へ」ボタ ンをクリック

Q:¥WIN98¥MDMMATE

9. 「デバイス」として次のデバイスが検出されます。

NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQ)

10. 「ドライバのある場所」として、次の場所が検出されますので、「次へ」 ボタンをクリック

Q:¥WIN98¥MDMMATE¥MDMNBUQ.INF

- 11. 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQ) ハードウェアデバイス用 の更新されたドライバのインストールが完了しました。」というメッセー ジが表示されたら「完了」ボタンをクリック
- 12. 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQ)プロパティ」の画面の「閉 じる」ボタンをクリック。
- 13. 「システムプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック
- 14. 「スタート」ボタン 「Windows の終了」をクリック
- 15. 「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック

再起動後、設定が有効になります。

以上で内蔵 FAX モデムボードセットアップは完了です。

50

MS-DOS モード用 CD-ROM ドライバのセットアップ

MS-DOS モードにて CD-ROM ドライブを利用するため、次の手順 でドライバをセットアップします。

- 1. 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
- 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」
 に次のように入力し「OK」をクリック

" COMMAND.COM "

3. MS-DOS プロンプトで、次のように入力する

Windows98 を新規にインストールした場合

CD ¥ 【Enter】

XCOPY Q:¥WIN98¥CDROM¥*.* C:¥WINDOWS¥COMMAND /H /S /Y [Enter]

MOVE /Y C:¥WINDOWS¥COMMAND¥IOS.INI C:¥WINDOWS [Enter]

ATTRIB +H +R C: ¥WINDOWS¥COMMAND¥SETCD.INI [Enter]

Windows95 からアップグレードした場合

CD ¥ 【Enter】

ATTRIB -H -R C:¥WINDOWS¥COMMAND¥SETCD.INI [Enter] XCOPY Q:¥WIN98¥CDROM¥*.* C:¥WINDOWS¥COMMAND /H /S /Y [Enter]

MOVE /Y C:¥WINDOWS¥COMMAND¥IOS.INI C:¥WINDOWS [Enter]

ATTRIB +H +R C:¥WINDOWS¥COMMAND¥SETCD.INI [Enter]

- 4. 「EXIT」と入力して MS-DOS プロンプトを終了させる
- 5. 「スタート」ボタン 「Windows の終了」をクリック
- 6. 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- 7. MS-DOS モードで、次のように入力します。

SETCD /A 【Enter】

8. 「EXIT」と入力する

MS-DOS モードから Windows に戻ります。

- 9. 「スタート」ボタン 「Windows の終了」をクリック
- 10. 「再起動する」をクリックして、「OK」をクリック

MS-DOS モードで CD-ROM ドライブが使えるようになります。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

- 1. 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
- 2. 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOS プロンプト」をクリック
- 3. MS-DOS プロンプトから次のように入力する

C: [Enter] CD ¥ [Enter] MD YMF740 [Enter] COPY Q:¥WIN98¥YMF740¥*.* C:¥YMF740 [Enter] EXIT [Enter]

- 4. 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 5. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリック
- 6. 「デバイスマネージャ」タブをクリック

- 「その他のデバイス」の「PCI Multimedia Audio Device」が存在する 場合はクリックし、「削除」ボタンをクリック
 - 注意 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- 「サウンド,ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA DS-XG Device Manager」または「YAMAHA DS-XG Devices」の 「YAMAHA DS-XG Device Manager」が存在する場合はクリックし、 「削除」ボタンをクリック
 - 注意 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリッ クしてください。
- 「サウンド,ビデオおよびゲームのコントローラ」の「YAMAHA DS-XG PCI Audio CODEC」または「YAMAHA DS-XG Devices」の 「YAMAHA DS-XG PCI Audio CODEC」が存在する場合はクリック し、「削除」ボタンをクリック
 - 注意 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリッ クしてください。
- 10. 「システムのプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリック
- 11. 「スタート」ボタン 「Windows の終了」をクリック
- 12. 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- 13. MS-DOS モードで次のように入力する

<MA45D/M、 MA35D/M、 MA40D/S、 MA35D/S、 MA40D/C、 MA35D/C、 MA30H/C、 MA30H/L の場合>

C: [Enter] CD ¥YMF740 [Enter] UPSOUND [Enter]

< MA33H/S、MA30H/S の場合> C:【Enter】 CD ¥YMF724【Enter】 UPSOUND【Enter】

14. 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示 されたら次のように入力する

EXIT [Enter]

Windows が再起動します。

- 15. 再起動中に「ディスクの挿入」の画面が表示されたら「OK」ボタンをク リック
- 「新しいハードウェア」の画面が表示されたら「ファイルのコピー元」に、
 次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

<MA45D/M、MA35D/M、MA40D/S、MA35D/S、MA40D/C、 MA35D/C、MA30H/C、MA30H/L の場合> C:¥YMF740

< MA33H/S、MA30H/S の場合> C:¥YMF724

- 17. 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOS プロンプト」をクリック
- 18. MS-DOS プロンプトから次のように入力する

<MA45D/M、 MA35D/M、 MA40D/S、 MA35D/S、 MA40D/C、 MA35D/C、 MA30H/C、 MA30H/L の場合>

54

C: [Enter] CD¥ [Enter] DEL YMF740¥^{*}.* [Enter] RD YMF740 [Enter] EXIT [Enter]

< MA33H/S、MA30H/S の場合> C:【Enter】 CD¥【Enter】 DEL YMF724¥*.*【Enter】 RD YMF724【Enter】 EXIT【Enter】

以上で内蔵サウンド対応ドライバのセットアップは完了です。

サウンド機能を MS-DOS モードで利用する場合

注意 次の手順は、サウンドドライバのセットアップを実施した後に行って 〈ださい。

> MS-DOSモードのサウンド機能はセットアップ直後の 設定では有効になっていません。MS-DOSモードにお いて、サウンド機能を使用する場合は、次の設定方法 に従って設定を行なってください。なお、Windows98の MS-DOSプロンプトではサウンド機能は使用できませ ん。

> C:¥AUTOEXEC.BAT および C:¥WINDOWS¥DOSSTART.BAT の 2 つのファイルの最 後に、次の3行を追加する

<追加内容>

@COPY C:¥DS-XG¥DOS4GW.EXE > NUL @C:¥DS-XG¥SETUPDS.EXE /s > NUL @DEL DOS4GW.EXE >NUL

- 注意 追加には、メモ帳、ワードパッド等のエディタを使用してください。エ ディタの使用方法については、エディタのヘルプを参照してくださ い。
- メモ この場合の MS-DOS モードとは次の 2 種類を差します。
 - ・「Microsoft Windows 98 Startup Menu」で「5. Command Prompt only」を選択した場合
 - 「Windows の終了」の画面で「MS-DOS モードで再起動する」を選 択した場合

ソフトウェアパワー OFF 機能のセットアップ

ソフトウェアパワー OFF 機能を利用するためには、次の手順が必要 です。

Windows 95 からアップグレードした場合は、次の手順は必要あり ません。

- 1. 「アプリケーション CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットする
- 2. 「スタート」ボタン 「プログラム」 「MS-DOS プロンプト」をクリック
- 3. MS-DOS プロンプトから次のように入力する

COPY Q:¥WIN98¥POWEROFF¥NECPOWSW.EXE C:¥WINDOWS [Enter]

COPY Q:¥WIN98¥POWEROFF¥NECPOWSW.VXD

C:¥WINDOWS¥SYSTEM [Enter] EXIT [Enter]

「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」
 に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

NOTEPAD C: ¥WINDOWS¥SYSTEM.INI

メモ帳が起動し、SYSTEM.INI が表示されます。

- 5. [386Enh]セクションに「device=necpowsw.vxd」を追加する
- 6. [PowerOff]セクションを作成し, Machine=1」を追加する
- 7. 「ファイル」メニューの「上書き保存」をクリック
- 8. 「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」をクリック
- 9. 「スタート」ボタン 「Windows の終了」をクリック
- 10. 「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック

再起動後、設定が有効になります。

以上ですべてのドライバのセットアップは完了です。

電源管理モードの利用(APM/ACPI モード)

ここでは, APM/ACPI モードの確認方法及び APM/ACPI モード切り 替え方法をそれぞれ説明しています。

APM/ACPI モードの確認方法について

動作中のモードは,Windows98のデバイスマネージャ で確認できます。

- 「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」 「シ ステムツール」の「システム情報」をクリック
- 2. 「コンポーネント」をダブルクリック
- 3. 「システム」をクリック

画面をスクロールさせ、次の情報が表示されていることを確認してください。

APMモード のとき 「アドバンスト パワーマネジメント サポート」

ACPIモード のとき

 $^{\rm r}$ Advanced Configuration and Power Interface(ACPI) BIOS $_{\rm J}$

APM モードから ACPI に切り替える

- 「アプリケーションCD-ROM」を CD-ROMドライブにセ ットする
- 2. 「マイコンピュータ」「Q」ドライブ 「WIN98」フォルダ 「acpi」フォルダをダブルクリック
- 3. 「Acpi_apm」をダブルクリック
- 「ACPIが無効です」というメッセージが表示されたら、 「Windows98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブに入 れ替えて、「OK」ボタンをクリック
- 注意 「ACPI が有効です」というメッセージが表示された場合は、すでに ACPI モードで動作していますので「キャンセル」ボタンをクリックし てください。「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、以降の操作 は不要です。CD-ROM を取り出してください。

- CD-ROM からファイルのコピーが始まり、「ファイルのコピーに失敗しました.」と表示された場合は、Windows フォルダの下に、すでに「Acpi_apm」フォルダが存在している可能性があります。
 「Acpi_apm」フォルダを削除して、最初の手順からやり直してください。
 - 「ACPIを有効に設定する準備ができました」というメッ セージが表示されたら「Windows98 CD-ROM」を取り 出し、「OK」ボタンをクリック
- 注意 以降の手順を行っている途中で、「Windows98 CD-ROM」を要求 するメッセージが表示されたら、そのまま「OK」ボタンをクリックし、 予めファイルを格納してある下記のフォルダを指定し「OK」ボタンを クリックしてください。

C:¥Windows¥Acpi_apm

- 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をダブ ルクリック
- 8. 「次へ」ボタンをクリック
- 9. 「次へ」ボタンをクリック
- 10.「デバイスは一覧にない」をクリックして、「次へ」ボタン をクリック
- 11. 「はい」をクリックして「次へ」ボタンをクリック
- 12. 「次へ」ボタンをクリック
- ハードウェアの検出が始まります。
- 13. 「完了」ボタンをクリック
- 14. 「今すぐ再起動しますか」というメッセージが表示された ら「はい」ボタンをクリック

以上でACPIモードへの切り替えは完了です。

ACPI モードに切り替えた時の注意事項

APMモードからACPIモードに切り替えた場合には、次のことに注意してください。

3モードFDドライバ 1.2MBのフロッピーディスクが読み書きできません。 再度、「フロッピーディスクドライバのセットアップ」 を行ってください。

ディスプレイの設定

- 「ディスプレイの設定に問題があります」というメッセージが表示されることがあります。「OK」ボタンをクリックすると「画面のプロパティ」の画面が表示されますので、そのまま「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
- 場合によっては、ディスプレイの解像度が、640×480
 16色に変更されることがあります。変更された場合は、解像度や色数を設定し直してください。
- USB98配列キーボードをご利用の場合、APMモード からACPIモード切り替えを実行すると、キーボード の設定が「106日本語(A01)」に変わってしまいます。 切り替え完了後、再設定してください。設定方法は、 「USB98配列キーボードドライバのセットアップ手 順」をご覧ください。

ACPI モードから APM に切り替える

- 「アプリケーションCD-ROM」を CD-ROMドライブにセットする
- 2. 「マイコンピュータ」「Q」ドライブ 「WIN98」フォルダ 「acpi」フォルダをダブルクリック
- 3. 「Acpi_apm」をダブルクリック
- 「ACPIが有効です」というメッセージが表示されたら 「Windows 98 CD-ROM」を CD-ROM ドライブに入 れ替えて、「OK」ボタンをクリック
- 注意 「ACPI が無効です」というメッセージが表示された場合は、すでに APM モードで動作していますので「キャンセル」ボタンをクリックし てください。「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、以降の操作 は不要です。CD-ROM を取り出してください。
 - CD-ROM からファイルのコピーが始まり、「ファイルのコピーに失敗しました。」と表示された場合は、Windows フォルダの下に、すでに「Acpi_apm」フォルダが存在している可能性があります。
 「Acpi_apm」フォルダを削除して、最初の手順からやり直してください。
 - 5. 「ACPIを無効に設定する準備ができました」というメッ セージが表示されたら、「Windows 98 CD-ROM」を取 り出し、「OK」ボタンをクリック
- 注意 以降の手順を行っている途中で、「Windows 98 CD-ROM」を要 求するメッセージが表示された場合は、そのまま「OK」ボタンをクリ ックし、予めファイルを格納してある次のフォルダを指定し「OK」ボ タンをクリックしてください(2度要求される場合があります)。

C:¥Windows¥Acpi_apm

- 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をダブ ルクリック
- 8. 「次へ」をクリック
- 9. 「次へ」をクリック
- 10.「デバイスは一覧にない」をクリックして、「次へ」ボタン をクリック
- 11. 「はい」をクリックして「次へ」ボタンをクリック
- 12. 「次へ」 ボタンをクリック
- ハードウェアの検出が始まります。
- 13. 「完了」ボタンをクリック
- 14. 「今すぐ再起動しますか」というメッセージが表示された ら「はい」ボタンをクリック
- 15. 再起動後、「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です」と
 いうメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 16.「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 17. 「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」をダブ ルクリック
- 18. 「次へ」 ボタンをクリック
- 19. 「次へ」 ボタンをクリック
- 20.「デバイスは一覧にない」をクリックして、「次へ」ボタン をクリック
- 21. 「はい」をクリックして「次へ」ボタンをクリック
- 22. 「次へ」ボタンをクリック

ハードウェアの検出が始まります。

- 23. 「完了」ボタンをクリック
- 24. 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 25. 「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
- 26. 「アプリケーションCD-ROM」を CD-ROMドライブにセ ットする
- 27. 「マイコンピュータ」 「Q」ドライブ 「WIN98」フォルダ 「acpi」フォルダをダブルクリック
- 28. 「Acpioff2」をダブルクリック

- 29.「Q:¥WIN98¥ACPI¥ACPIOFF2.REGの情報をレジス トリに追加しますか?」というメッセージが表示されたら 「はい」ボタンをクリック
- 「Q:¥WIN98¥ACPI¥ACPIOFF2.REGの情報がレジス トリに正しく入力されました」というメッセージが表示され たら「OK」ボタンをクリック
- 31. 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 32. 「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック

以上でAPMモードへの切り替えは完了です。

Windows NT 4.0 を利用する

Windows NT 4.0 を利用する

『活用ガイド ソフトウェア編』「PART3 他の OS を利用する」の「Windows NT 4.0 を利用する」をご覧ください。



ご利用にあたって

Mate NX

Windows 95 インストールモデル

初版 1998年11月 NEC P



このマニュアルはエコマーク認定の 再生紙を使用しています。